

平成30年度 事業計画

1 基本方針

昨年は景気拡大期間が戦後2番目を記録し経済面では好調といわれる一方で、超高齢社会は毎年どんどん進展しています。こうした中、高齢者には社会を支える役割が以前にも増して求められており、シルバー人材センターも高齢者の就業機会の提供、生きがいや健康増進を通して地域社会における役割を果たしていく必要があります。

そのためにシルバー人材センターは、環境の変化に対応できる能力を高め、法令の遵守と会員の安全就業を徹底しながら、地域に必要な団体として、これからもお客様の信頼に応え、満足度を高めていかなければなりません。

当センターとしては、今年度は平成28年度～32年度中長期計画に基づき「会員数の拡大」「適正就業の推進と就業機会の確保」「安全就業の徹底」「組織体制の強化」「財政基盤の強化」「会員の研修と会員相互の交流の推進」「広報、ボランティアの推進」をさらに進めてまいります。

特に会員数の拡大はセンター活動を行う上で最も根本的な課題であることから、工夫をこらしながら、今年度も昨年度に引き続き特に力を入れてまいります。

これからも、地域に根ざしたセンターとしての発展を目指し、この事業計画に基づき、目標達成に向けてシルバー人材センターの会員、役職員がそれぞれの役割を果たしながら、心をひとつにして取り組んでまいります。

2 事業実施計画

(1) 会員数の拡大

- ① 苫小牧市の「広報とまこまい」などを活用した広報活動や、会員募集ポスターの公共施設への掲示など、市民に積極的に情報を提供し、新規会員の獲得のPRに努めます。
- ② インターネットを利用する高齢者が増加していることを踏まえ、会員拡大につながるようホームページ上でシルバーの活動や入会手続きなどについて適宜必要な情報を提供してまいります。
- ③ センターが受託している指定管理施設においてパンフレットの配布を行い引き続き入会促進に努めます。
- ④ 苫小牧市制施行70周年記念協賛事業としてハスカップ収穫作業などの一般市民向け講習会等を開催します。また、講習会を開催することにより、新規会員の獲得、特に女性会員の入会を押し進め、農業関連分野での人手不足対策とします。
- ⑤ 街頭啓発でパンフレットの配布を行い、会員の入会を図っていきます。
- ⑥ 入会説明会では説明用のDVDを刷新し、より分かりやすい内容にするとともに、多くの人が参加しやすいよう時間の短縮を行います。
- ⑦ 新入会員の入会、新たな受注先の開拓やセンター事業への参加など、センター事業に貢献した会員を表彰するポイント制度を新たに設けます。これにより、会員数の拡大とともに受注の確保、組織体制の強化を図ってまいります。

- ⑧ 会費規程を改定し、夫婦で入会する会員の増加や年度末の入会者の増加を図ります。
- ⑨ 入会後1年未満の会員の退会を防止するため、講習会受講やサークル入会を奨励し、就業相談を実施するなど、会員数減少を抑制するよう努めます。

(2) 適正就業の推進と就業機会の確保

ア 適正就業の推進

- ① 就業形態については法令遵守に努めるとともに、請負契約に適しない業務は派遣契約を行うなどの対応を行っていきます。
- ② 就業機会の均等化を図るため、長期就業などを是正するとともに、未就業会員に対しては、簡易な業務の情報を提供するなどして就業率の向上を目指します。

イ 請負受注の確保と独自事業の推進

- ① 苫小牧市に対してはシルバー事業の理念、概要を説明し、高齢者に適した就業機会の拡大とともに、事業全般に対する支援を引き続き要請します。
- ② 就業開拓員を配置し、受注の拡大を図ります。
- ③ 前年度、錦岡地区に新たに用地を取得し、従来より広い作業面積を確保したことから、腐葉土、花づくり、椎茸のホダ木の独自事業について積極的に事業展開いたします。また、この用地に苫小牧市の木の花であるハスカップの苗100本を将来の展開を見すえて試験栽培するなど、用地を有効に活用して事業の充実を図ってまいります。
- ④ 会員の就業の拡大を図るため、福祉部門など国の施策等で推奨する新たな就業について調査、研究を行います。

ウ 派遣事業等の充実

- ① 高齢者派遣事業については、道シ連と連携するとともに、就業機会の拡大につながるよう、取引先との連絡を密にし、業務拡大に向けて取り組みます。
- ② 職業紹介については推進してまいります。

エ 指定管理事業の充実

- ① 指定管理者となっている高齢者福祉センター、労働福祉センター、錦大沼公園、拓勇・日の出公園については、苫小牧市との協定を遵守して適正な管理運営を行うとともに、利用者サービスの向上に努めます。
- ② 錦大沼ちびっこワカサギ釣りチャレンジ、高齢者福祉センター高齢者セミナーなど、各施設において創意をこらした自主事業を実施し、利用者の満足度の向上と利用者の増加に努めます。
- ③ 今年度で定められた受託期間を終える指定管理施設については、これまでの実績を生かし、利用者サービス第一とした提案をすることで次期の受託ができるよう努めます。

(3) 安全就業の徹底

- ① 安全・適正就業委員会が主体となって、安全対策の周知徹底を図るとともに安全就業の啓発強化を図るために「安全大会」を実施します。
- ② 安全・適正就業委員会は、就業現場の安全パトロールをはじめ「安全ニュース」の発行や「安全標語」の募集を行い、会員の安全意識の高揚を図り、安全作業の定着に努めます。
- ③ 事故が発生した場合は、原因を究明し、就業会員を対象に、事例を基に危険予知訓練を行うなど安全意識を高め事故防止に努めます。

- ④ 会員が良好な体調を維持することが事故防止にもつながることから、定期的に健康診断を受けることを奨励するとともに「健康教室」を開催します。
- ⑤ 近年高年齢者の自動車運転による交通事故が社会的関心を集めていることから、自動車運転業務に従事する会員を対象として適性診断を実施します。
- ⑥ 新たに剪定、機械除草業務における安全就業実施度自己チェックを実施します。
- ⑦ 安全管理に関する研修に職員を受講させ、安全対策の向上を図ってまいります。

(4) 組織体制の強化

- ① 事業の執行機関である理事会をはじめ、部会（総務部会、事業部会）や各委員会（安全・適正就業委員会、広報委員会）を開催し、事業の適正な執行と活性化を図ります。また、シルバーまつりなどの行事実行委員会に多くの会員が参加することで事業の充実を図ります。
- ② 地区会議、地区長会議を開催し、事業に関する情報提供や意見交換、運営に対する要望や提案を話し合い、会員の自主的活動と交流を促進し参画意識や主体性の高揚に努めます。
- ③ 「女性会」は講習会の開催、普及啓蒙活動やボランティア活動を積極的に応援してまいります。
- ④ 事務局が入居している労働福祉センターは市の公共施設の統廃合の対象となっていることから、活動拠点としての事務局の確保について、引き続き苫小牧市と協議してまいります。
- ⑤ 事業に必要な備品の充実など必要な整備を進めてまいります。
- ⑥ 事務局職員の能力向上のため必要な研修を行います。
- ⑦ 苫小牧市、公共職業安定所、道シ連、道内の各センターなど関係機関や諸団体と十分に連携し、事業の円滑な推進に努めます。

(5) 財政基盤の強化

- ① 国の補助制度の動向を注視するとともに、派遣事業の着実な進展により補助金の確保に努めます。
- ② 長期的な視点に立って、適正な固定資産や備品の購入と活用を行うとともに、経費の削減に努めます。
- ③ 会員に就業に見合った適正な収入を確保するとともに、事務費収入の増額を図るため、配分金の改定については最低賃金や消費税率などの動向を的確に把握し改定時期の検討を行います。

(6) 会員の研修と会員相互の交流の推進

- ① 会員の知識、技能、技術の向上を図り、就業職種と就業分野の拡大のため、センター主催の講習会を実施します。
- ② 入会後3年を経過した会員を対象に、シルバー事業に対する認識を深めていただくため、理念や仕組みを詳細に説明する「3年度経過後講習会」を引き続き実施します。
- ③ 事業の円滑な運営に資するため、会員の現状と意向を把握する「会員継続調査」を実施します。
- ④ 「休憩室の開放」は理事を先頭に取り組むとともに、就業上の意見や相談を受けるため

の「会員の相談日」についても利用を促進するよう努めてまいります。

- ⑤ 会報「とまこまいシルバーだより」を年2回、会員などに配布し、事業の周知や情報伝達に努めます。
- ⑥ 会員が自主的に運営する会員の親睦交流を図る行事や、趣味・教養等のサークル活動を引き続き支援してまいります。

(7) 広報、ボランティアの推進

- ① 市の広報紙などに広告を掲載するとともに、事業実施の際の報道記事を活用して事業の啓蒙宣伝に努めます。
- ② 特に女性会員向け就業先確保や女性会員の拡大のため、役員を先頭に女性会員の協力を得て、パンフレットの配布などの街頭啓発を実施します。
- ③ 会員の技能発表の場を兼ねた「シルバーまつり」を開催するなど、地域との結びつきを強め、シルバー事業の普及啓発に努めます。
- ④ センターが受託した指定管理施設において、利用者に対するパンフレットの配布を行うほか、指定管理事業の中で、就業機会の拡大につながる事業の実施や、普及啓発につながる活動を引き続き実施してまいります。
- ⑤ ホームページはさらに内容を分かりやすくするなどし、センターの情報提供を積極的に行ってまいります。
- ⑥ センターを支えてくれる地域への感謝を込めて実施しているボランティア活動は、港まつり会場の清掃や錦大沼公園ハナショウブ園での花がら摘みなど引き続き行ってまいります。

3 事業の目標

平成30年度の目標は、前述の基本方針と実施計画に基づき次のとおりとします。

| 区分 | 平成29年度実績 | 平成30年度目標 |
|------------------|-----------|-----------|
| 1 会員数 | 666人 | 750人 |
| 2 受注額・就業延人員 | | |
| (1) 請負 | | |
| ① 受注額 | 233,791千円 | 240,000千円 |
| ② 就業延人員 | 53,211人日 | 54,000人日 |
| (2) 派遣 (参考) | | |
| ① 受注額 | 37,386千円 | 39,000千円 |
| ② 就業延人員 | 6,560人日 | 6,800人日 |
| (3) 請負・派遣合計 (参考) | | |
| ① 受注額 | 271,177千円 | 279,000千円 |
| ② 就業延人員 | 59,771人日 | 60,800人日 |
| 3 就業率 | | |
| (1) 請負 | 80.9 % | 85.0 % |
| (2) 請負・派遣合計 (参考) | 87.1 % | 90.0 % |

※ 派遣事業は、公益社団法人北海道シルバー人材センター連合会の事業です。